

# ダイワ短期国際機関債ファンド (毎月分配型)－成長の絆－ (年2回決算型)－成長の絆(年2回)－

## 運用報告書 (全体版)

毎月分配型  
 第43期 (決算日 2018年 8月21日)  
 第44期 (決算日 2018年 9月21日)  
 第45期 (決算日 2018年10月22日)  
 第46期 (決算日 2018年11月21日)  
 第47期 (決算日 2018年12月21日)  
 第48期 (決算日 2019年 1月21日)

年2回決算型 第7期 (決算日 2019年 1月21日)  
 (作成対象期間 2018年7月24日～2019年1月21日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	毎月分配型	5年間 (2015年1月22日～2020年1月21日)
	年2回決算型	約4年3カ月間 (2015年10月15日～2020年1月21日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ短期国際機関債マザーファンドの受益証券
	ダイワ短期国際機関債マザーファンド	新興国通貨建ての国際機関債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5649>  
<2702>

（毎月分配型）－成長の絆－

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純総 資産額
	(分配落)	税込 分配 金 円	期中 騰落 率 %	(参考指数)	期中 騰落 率 %			
19期末(2016年8月22日)	7,322	40	△3.6	8,491	△3.3	95.5	—	6,708
20期末(2016年9月21日)	7,308	40	0.4	8,451	△0.5	95.2	—	6,281
21期末(2016年10月21日)	7,385	40	1.6	8,728	3.3	95.6	—	6,083
22期末(2016年11月21日)	7,431	40	1.2	8,666	△0.7	94.8	—	5,710
23期末(2016年12月21日)	7,912	40	7.0	9,281	7.1	91.8	—	5,804
24期末(2017年1月23日)	7,717	40	△2.0	9,138	△1.5	92.5	—	5,583
25期末(2017年2月21日)	7,856	40	2.3	9,320	2.0	93.6	—	5,428
26期末(2017年3月21日)	8,013	40	2.5	9,476	1.7	93.4	—	5,340
27期末(2017年4月21日)	7,840	40	△1.7	9,295	△1.9	91.6	—	4,866
28期末(2017年5月22日)	8,002	40	2.6	9,537	2.6	92.9	—	4,772
29期末(2017年6月21日)	7,956	40	△0.1	9,658	1.3	92.6	—	4,541
30期末(2017年7月21日)	8,152	40	3.0	9,971	3.2	92.5	—	4,532
31期末(2017年8月21日)	7,912	40	△2.5	9,760	△2.1	86.8	—	4,263
32期末(2017年9月21日)	8,149	40	3.5	10,280	5.3	93.7	—	4,159
33期末(2017年10月23日)	8,014	40	△1.2	10,162	△1.1	93.7	—	3,962
34期末(2017年11月21日)	7,754	40	△2.7	9,893	△2.6	94.6	—	3,718
35期末(2017年12月21日)	8,011	40	3.8	10,187	3.0	94.2	—	3,746
36期末(2018年1月22日)	8,067	40	1.2	10,306	1.2	93.7	—	3,718
37期末(2018年2月21日)	7,832	40	△2.4	10,061	△2.4	93.2	—	3,570
38期末(2018年3月22日)	7,632	40	△2.0	9,867	△1.9	93.4	—	3,388
39期末(2018年4月23日)	7,555	40	△0.5	10,079	2.1	95.1	—	3,208
40期末(2018年5月21日)	7,363	40	△2.0	9,724	△3.5	95.2	—	3,084
41期末(2018年6月21日)	7,123	40	△2.7	9,471	△2.6	94.0	—	2,914
42期末(2018年7月23日)	7,228	40	2.0	9,562	1.0	93.2	—	2,898
43期末(2018年8月21日)	6,738	40	△6.2	9,117	△4.7	94.5	—	2,618
44期末(2018年9月21日)	6,852	40	2.3	9,331	2.3	93.7	—	2,642
45期末(2018年10月22日)	6,944	40	1.9	9,419	0.9	94.4	—	2,626
46期末(2018年11月21日)	7,075	40	2.5	9,541	1.3	93.1	—	2,596
47期末(2018年12月21日)	6,984	40	△0.7	9,583	0.4	94.7	—	2,459
48期末(2019年1月21日)	7,044	40	1.4	9,677	1.0	94.4	—	2,436

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

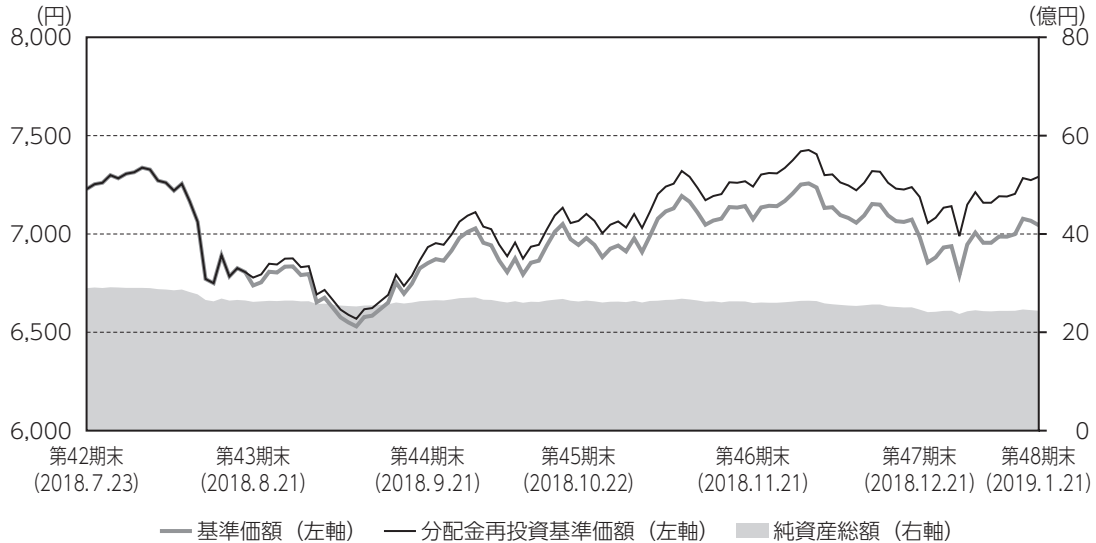
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率・売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第43期首：7,228円

第48期末：7,044円（既払分配金240円）

騰落率：0.9%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している通貨が円に対して下落したことなどはマイナス要因となりましたが、債券の利息収入や債券価格の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

	年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM ブロード・ダイバーシファイド (円 換 算)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第43期	(期首) 2018年7月23日	円 7,228	% -	9,562	% -	% 93.2	% -
	7月末	7,314	1.2	9,665	1.1	93.8	-
	(期末) 2018年8月21日	6,778	△6.2	9,117	△4.7	94.5	-
第44期	(期首) 2018年8月21日	6,738	-	9,117	-	94.5	-
	8月末	6,653	△1.3	9,139	0.2	93.6	-
	(期末) 2018年9月21日	6,892	2.3	9,331	2.3	93.7	-
第45期	(期首) 2018年9月21日	6,852	-	9,331	-	93.7	-
	9月末	6,980	1.9	9,528	2.1	93.5	-
	(期末) 2018年10月22日	6,984	1.9	9,419	0.9	94.4	-
第46期	(期首) 2018年10月22日	6,944	-	9,419	-	94.4	-
	10月末	6,978	0.5	9,392	△0.3	93.2	-
	(期末) 2018年11月21日	7,115	2.5	9,541	1.3	93.1	-
第47期	(期首) 2018年11月21日	7,075	-	9,541	-	93.1	-
	11月末	7,251	2.5	9,710	1.8	93.3	-
	(期末) 2018年12月21日	7,024	△0.7	9,583	0.4	94.7	-
第48期	(期首) 2018年12月21日	6,984	-	9,583	-	94.7	-
	12月末	6,938	△0.7	9,533	△0.5	94.5	-
	(期末) 2019年1月21日	7,084	1.4	9,677	1.0	94.4	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018.7.24～2019.1.21)

### ■債券市況・為替相場

新興国債券市場や投資対象通貨の対円為替相場では、個別国の要因に加えてトルコ・リラの急落を背景とした新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落の影響を受ける展開となりました。

#### ・アジア地域

インドネシア・ルピアは、複数回の利上げによって対円で上昇した一方、インド・ルピーは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。

#### ・欧州地域

トルコ・リラは、米国との関係悪化懸念が高まり対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の下落などから対円で下落しました。

#### ・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどにより、対円で下落しました。

#### ・中南米地域

ブラジル・レアルは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、新空港建設中止が発表されたことをきっかけに政治的不透明感が高まったことなどから、対円で下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2018.7.24～2019.1.21)

### ■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドとしました。また、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

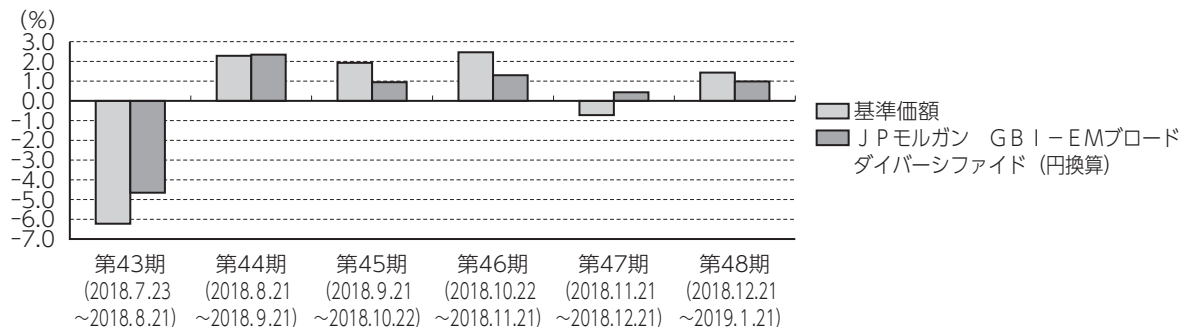
合わせて、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2018年7月24日 ～2018年8月21日	2018年8月22日 ～2018年9月21日	2018年9月22日 ～2018年10月21日	2018年10月23日 ～2018年11月21日	2018年11月22日 ～2018年12月21日	2018年12月22日 ～2019年1月21日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>
対基準価額比率（％）	0.59	0.58	0.57	0.56	0.57	0.56
当期の収益（円）	32	40	40	40	40	40
当期の収益以外（円）	7	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	209	210	216	228	233	241

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 32.91円	✓ 41.20円	✓ 46.32円	✓ 51.47円	✓ 44.59円	✓ 48.75円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	18.44	18.75	19.05	19.38	19.74	20.08
(d) 分配準備積立金	✓ 197.99	190.61	191.54	197.56	208.70	212.97
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	249.35	250.58	256.91	268.41	273.04	281.82
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	209.35	210.58	216.91	228.41	233.04	241.82

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第43期～第48期 (2018.7.24～2019.1.21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0.716%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,978円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.321)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.374)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	51	0.731	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年7月24日から2019年1月21日まで)

決算期	第43期～第48期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	14,931	13,699	551,659	506,715

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第42期末		第48期末	
	□数	評価額	□数	評価額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	3,108,613	2,571,884	2,425,287	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年8月21日)、(2018年9月21日)、(2018年10月22日)、(2018年11月21日)、(2018年12月21日)、(2019年1月21日)現在

項目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,642,331,861円</b>	<b>2,662,915,441円</b>	<b>2,655,738,801円</b>	<b>2,624,976,143円</b>	<b>2,494,854,162円</b>	<b>2,469,686,917円</b>
コール・ローン等	31,153,288	30,566,449	30,658,458	30,310,821	29,476,104	28,149,085
ダイワ短期国際機関債マザーファンド(評価額)	2,605,567,639	2,629,817,039	2,613,684,775	2,583,651,655	2,447,717,254	2,425,287,551
未収入金	5,610,934	2,531,953	11,395,568	11,013,667	17,660,804	16,250,281
<b>(B) 負債</b>	<b>24,143,203</b>	<b>20,870,894</b>	<b>29,435,560</b>	<b>28,803,414</b>	<b>34,860,220</b>	<b>32,948,485</b>
未払収益分配金	15,543,469	15,423,574	15,128,620	14,677,050	14,088,933	13,838,134
未払解約金	5,347,689	2,226,510	10,998,123	10,919,052	17,612,308	16,012,923
未払信託報酬	3,233,759	3,184,780	3,254,577	3,135,149	3,069,751	2,991,152
その他未払費用	18,286	36,030	54,240	72,163	89,228	106,276
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,618,188,658</b>	<b>2,642,044,547</b>	<b>2,626,303,241</b>	<b>2,596,172,729</b>	<b>2,459,993,942</b>	<b>2,436,738,432</b>
元本	3,885,867,364	3,855,893,689	3,782,155,105	3,669,262,694	3,522,233,483	3,459,533,660
次期繰越損益金	△1,267,678,706	△1,213,849,142	△1,155,851,864	△1,073,089,965	△1,062,239,541	△1,022,795,228
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,885,867,364□</b>	<b>3,855,893,689□</b>	<b>3,782,155,105□</b>	<b>3,669,262,694□</b>	<b>3,522,233,483□</b>	<b>3,459,533,660□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	6,738円	6,852円	6,944円	7,075円	6,984円	7,044円

\*第42期末における元本額は4,010,029,314円、当作成期間(第43期～第48期)中における追加設定元本額は34,218,755円、同解約元本額は584,714,409円です。

\*第48期末の計算口数当りの純資産額は7,044円です。

\*第48期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,022,795,228円です。

■投資信託財産の構成

2019年1月21日現在

項目	第48期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	2,425,287	98.2
コール・ローン等、その他	44,399	1.8
投資信託財産総額	2,469,686	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.67円、1トルコ・リラ=20.63円、1メキシコ・ペソ=5.74円、1インド・ルピー=1.55円、100インドネシア・ルピア=0.78円、1ブラジル・リアル=29.21円、1ロシア・ルーブル=1.66円、1南アフリカ・ランド=7.94円です。

(注3) ダイワ短期国際機関債マザーファンドにおいて、第48期末における外貨建純資産(2,449,435千円)の投資信託財産総額(2,458,142千円)に対する比率は、99.6%です。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

■損益の状況

第43期 自2018年7月24日 至2018年8月21日 第46期 自2018年10月23日 至2018年11月21日  
 第44期 自2018年8月22日 至2018年9月21日 第47期 自2018年11月22日 至2018年12月21日  
 第45期 自2018年9月22日 至2018年10月22日 第48期 自2018年12月22日 至2019年1月21日

項 目	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期
(A) 配当等収益	△ 572円	△ 946円	△ 973円	△ 577円	△ 553円	△ 196円
受取利息	4	3	11	12	17	1
支払利息	△ 576	△ 949	△ 984	△ 589	△ 570	△ 197
(B) 有価証券売買損益	△ 171,831,583	62,680,659	53,186,579	66,092,355	△ 14,971,079	37,383,475
売買益	2,188,834	62,948,276	54,102,922	67,329,459	752,569	37,685,393
売買損	△ 174,020,417	△ 267,617	△ 916,343	△ 1,237,104	△ 15,723,648	△ 301,918
(C) 信託報酬等	△ 3,252,476	△ 3,202,750	△ 3,272,945	△ 3,153,280	△ 3,087,525	△ 3,009,113
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 175,084,631	59,476,963	49,912,661	62,938,498	△ 18,059,157	34,374,166
(E) 前期繰越損益金	△ 1,013,972,205	△ 1,193,477,054	△ 1,125,767,206	△ 1,056,817,078	△ 966,605,478	△ 979,466,521
(F) 追加信託差損益金	△ 63,078,401	△ 64,425,477	△ 64,868,699	△ 64,534,335	△ 63,485,973	△ 63,864,739
(配当等相当額)	( 7,165,630)	( 7,231,538)	( 7,206,958)	( 7,111,036)	( 6,953,397)	( 6,949,640)
(売買損益相当額)	(△ 70,244,031)	(△ 71,657,015)	(△ 72,075,657)	(△ 71,645,371)	(△ 70,439,370)	(△ 70,814,379)
(G) 合計(D+E+F)	△ 1,252,135,237	△ 1,198,425,568	△ 1,140,723,244	△ 1,058,412,915	△ 1,048,150,608	△ 1,008,957,094
(H) 収益分配金	△ 15,543,469	△ 15,423,574	△ 15,128,620	△ 14,677,050	△ 14,088,933	△ 13,838,134
次期繰越損益金(G+H)	△ 1,267,678,706	△ 1,213,849,142	△ 1,155,851,864	△ 1,073,089,965	△ 1,062,239,541	△ 1,022,795,228
追加信託差損益金	△ 63,078,401	△ 64,425,477	△ 64,868,699	△ 64,534,335	△ 63,485,973	△ 63,864,739
(配当等相当額)	( 7,165,630)	( 7,231,538)	( 7,206,958)	( 7,111,036)	( 6,953,397)	( 6,949,640)
(売買損益相当額)	(△ 70,244,031)	(△ 71,657,015)	(△ 72,075,657)	(△ 71,645,371)	(△ 70,439,370)	(△ 70,814,379)
分配準備積立金	74,185,989	73,966,440	74,835,101	76,702,045	75,130,362	76,709,276
繰越損益金	△ 1,278,786,294	△ 1,223,390,105	△ 1,165,818,266	△ 1,085,257,675	△ 1,073,883,930	△ 1,035,639,765

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,789,800円	15,889,058円	17,519,595円	18,887,589円	15,707,616円	16,867,899円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	7,165,630	7,231,538	7,206,958	7,111,036	6,953,397	6,949,640
(d) 分配準備積立金	76,939,658	73,500,956	72,444,126	72,491,506	73,511,679	73,679,511
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	96,895,088	96,621,552	97,170,679	98,490,131	96,172,692	97,497,050
(f) 分配金	15,543,469	15,423,574	15,128,620	14,677,050	14,088,933	13,838,134
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	81,351,619	81,197,978	82,042,059	83,813,081	82,083,759	83,658,916
(h) 受益権総口数	3,885,867,364□	3,855,893,689□	3,782,155,105□	3,669,262,694□	3,522,233,483□	3,459,533,660□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期
1 万 口 当 り 分 配 金	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3期末(2017年1月23日)	9,331	50	4.6	10,036	4.1	92.5	－	15
4期末(2017年7月21日)	9,813	340	8.8	10,950	9.1	92.6	－	34
5期末(2018年1月22日)	9,959	50	2.0	11,319	3.4	93.7	－	18
6期末(2018年7月23日)	9,165	50	△7.5	10,501	△7.2	93.3	－	16
7期末(2019年1月21日)	9,196	50	0.9	10,627	1.2	94.4	－	16

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

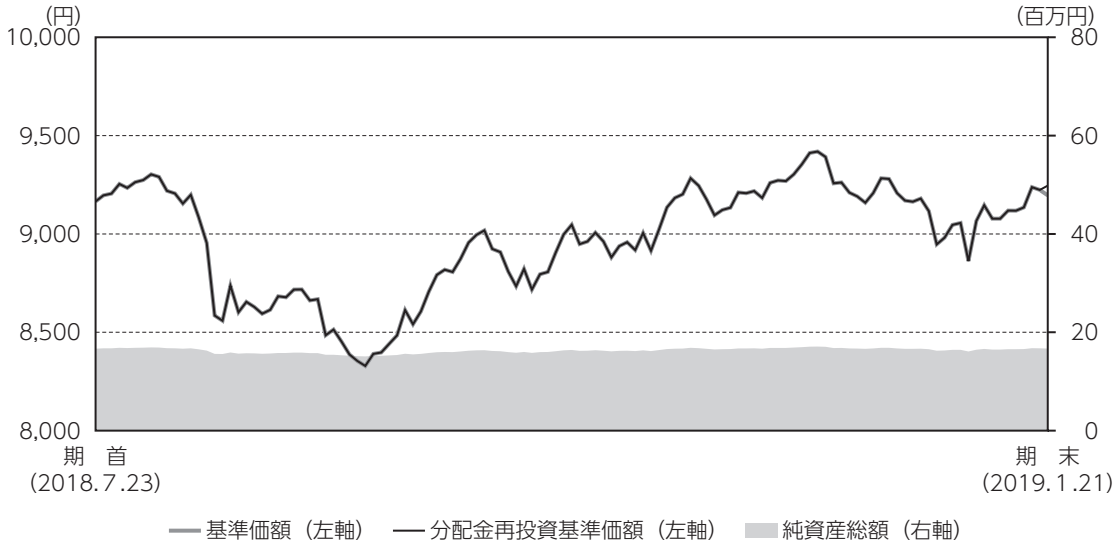
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,165円

期末：9,196円（分配金50円）

騰落率：0.9%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している通貨が円に対して下落したことなどはマイナス要因となりましたが、債券の利息収入や債券価格の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ短期国際機関債ファンド（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M ブロード ダイバーシファイド (円 換 算)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2018年 7月23日	円 9,165	% -	10,501	% -	% 93.3	% -
7月末	9,274	1.2	10,614	1.1	93.8	-
8月末	8,485	△7.4	10,036	△4.4	93.7	-
9月末	8,956	△2.3	10,464	△0.4	93.6	-
10月末	9,005	△1.7	10,314	△1.8	93.4	-
11月末	9,412	2.7	10,664	1.5	93.6	-
12月末	9,056	△1.2	10,469	△0.3	95.0	-
(期末) 2019年 1月21日	9,246	0.9	10,627	1.2	94.4	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018.7.24～2019.1.21)

## ■債券市況・為替相場

新興国債券市場や投資対象通貨の対円為替相場では、個別国の要因に加えてトルコ・リラの急落を背景とした新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落の影響を受ける展開となりました。

## ・アジア地域

インドネシア・ルピアは、複数回の利上げによって対円で上昇した一方、インド・ルピーは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。

## ・欧州地域

トルコ・リラは、米国との関係悪化懸念が高まり対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の下落などから対円で下落しました。

## ・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどにより、対円で下落しました。

## ・中南米地域

ブラジル・レアルは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、新空港建設中止が発表されたことをきっかけに政治的不透明感が高まったことなどから、対円で下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

## ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2018.7.24～2019.1.21)

### ■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドとしました。また、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

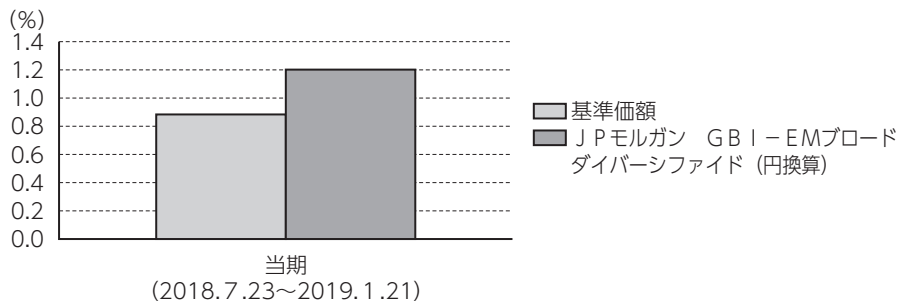
合わせて、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。





## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年7月24日 ～2019年1月21日	
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)	<b>50</b>	
対基準価額比率 (%)	0.54	
当期の収益 (円)	50	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,259	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	317.97円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		337.91
(d) 分配準備積立金		653.15
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		1,309.04
(f) 分配金		50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		1,259.04

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018.7.24~2019.1.21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	65円	0.721%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,974円です。
（投 信 会 社）	(29)	(0.323)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(34)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	66	0.735	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年7月24日から2019年1月21日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	10	8	244	222

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	－	－	10	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	17,866	17,632	17,632	16,627

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年1月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	16,627	98.3
コール・ローン等、その他	284	1.7
投資信託財産総額	16,912	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.67円、1トルコ・リラ＝20.63円、1メキシコ・ペソ＝5.74円、1インド・ルピー＝1.55円、100インドネシア・ルピア＝0.78円、1ブラジル・リアル＝29.21円、1ロシア・ルーブル＝1.66円、1南アフリカ・ランド＝7.94円です。

(注3) ダイワ短期国際機関債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,449,435千円)の投資信託財産総額(2,458,142千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年1月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	16,912,289円
コール・ローン等	284,652
ダイワ短期国際機関債マザーファンド(評価額)	16,627,637
(B) 負債	208,908
未払収益分配金	90,818
未払信託報酬	117,544
その他未払費用	546
(C) 純資産総額(A－B)	16,703,381
元本	18,163,646
次期繰越損益金	△ 1,460,265
(D) 受益権総口数	18,163,646口
1万口当り基準価額(C/D)	9,196円

\* 期首における元本額は18,174,434円、当作成期間中における追加設定元本額は52,202円、同解約元本額は62,990円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,196円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,460,265円です。

■損益の状況

当期 自2018年7月24日 至2019年1月21日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	266,824円
売買益	271,706
売買損	△ 4,882
(B) 信託報酬等	△ 118,090
(C) 当期損益金(A+B)	148,734
(D) 前期繰越損益金	△ 720,127
(E) 追加信託差損益金	△ 798,054
(配当等相当額)	( 613,771)
(売買損益相当額)	(△1,411,825)
(F) 合計(C+D+E)	△1,369,447
(G) 収益分配金	△ 90,818
次期繰越損益金(F+G)	△1,460,265
追加信託差損益金	△ 798,054
(配当等相当額)	( 613,771)
(売買損益相当額)	(△1,411,825)
分配準備積立金	1,673,115
繰越損益金	△2,335,326

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	577,559円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	613,771
(d) 分配準備積立金	1,186,374
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,377,704
(f) 分配金	90,818
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,286,886
(h) 受益権総口数	18,163,646口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ短期国際機関債マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2019年1月21日)

(作成対象期間 2018年7月24日～2019年1月21日)

ダイワ短期国際機関債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての国際機関債
株式組入制限	信託財産の純資産総額の10%以下

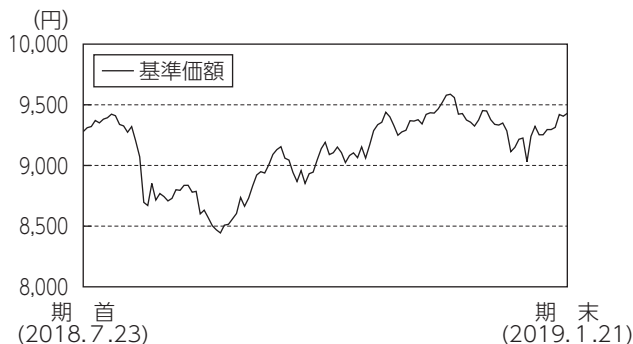
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算) (参考指数)		公社債 組入比率		債券先物 比率	
	円	%	騰落率	%	%	%	%	%
(期首)2018年7月23日	9,279	-	9,562	-	93.7	-	-	-
7月末	9,393	1.2	9,665	1.1	94.3	-	-	-
8月末	8,601	△7.3	9,139	△4.4	94.1	-	-	-
9月末	9,091	△2.0	9,528	△0.4	94.0	-	-	-
10月末	9,153	△1.4	9,392	△1.8	93.6	-	-	-
11月末	9,579	3.2	9,710	1.5	93.8	-	-	-
12月末	9,226	△0.6	9,533	△0.3	95.1	-	-	-
(期末)2019年1月21日	9,430	1.6	9,677	1.2	94.9	-	-	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用していません。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,279円 期末：9,430円 騰落率：1.6%

【基準価額の主な変動要因】

投資している通貨が円に対して下落したことなどはマイナス要因となりましたが、債券の利息収入や債券価格の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○債券市況・為替相場

新興国債券市場や投資対象通貨の対円為替相場では、個別国の要

因に加えてトルコ・リラの急落を背景とした新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落の影響を受ける展開となりました。

・アジア地域

インドネシア・ルピアは、複数回の利上げによって対円で上昇した一方、インド・ルピーは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。

・欧州地域

トルコ・リラは、米国との関係悪化懸念が高まり対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の下落などから対円で下落しました。

・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどにより、対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、新空港建設中止が発表されたことをきっかけに政治的不透明感が高まったことなどから、対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドとしました。また、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

合わせて、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2018年7月24日から2019年1月21日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	トルコ	千トルコ・リラ 13,696	千トルコ・リラ 12,541 ( 4,600)
	メキシコ	千メキシコ・ペソ 83,218	千メキシコ・ペソ 36,212 ( 62,950)
	インド	千インド・ルピー 148,780	千インド・ルピー 141,958 ( 40,000)
	インドネシア	千インドネシア・ルピア 4,935,103	千インドネシア・ルピア 9,499,159 ( —)
	ブラジル	千ブラジル・リアル —	千ブラジル・リアル 1,514 ( —)
	ロシア	千ロシア・ルーブル 169,845	千ロシア・ルーブル 136,980 ( —)
国	南アフリカ	千南アフリカ・ランド 57,751	千南アフリカ・ランド 69,129 ( —)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年7月24日から2019年1月21日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	6% 2019/10/21	442,378	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	9% 2018/12/21	512,366
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	27.5% 2020/9/11	263,339	INTL. FIN. CORP. (国際機関)	8.75% 2018/12/17	211,825
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	7.5% 2020/6/11	251,400	INTL. FIN. CORP. (国際機関)	6.45% 2018/10/30	206,503
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	7.25% 2020/5/21	211,906	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	8% 2018/10/11	157,162
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	7.8% 2019/6/3	181,150	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	4.5% 2018/12/18	146,566
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	4% 2020/2/25	114,713	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	27.5% 2020/9/11	71,602
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関)	3.39% 2018/11/7	109,228	INTL. FIN. CORP. (国際機関)	12% 2019/1/29	45,464
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関)	10% 2019/9/16	60,594	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	10% 2018/11/16	39,545
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	6.6% 2019/3/4	50,415	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関)	3.7% 2018/8/13	34,829
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	4.95% 2019/3/1	38,987	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	11% 2018/9/28	25,946

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

# ダイワ短期国際機関債マザーファンド

## ■組入資産明細表

### (1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率	
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上 2 年 未 満
トルコ	千トルコ・リラ 9,900	千トルコ・リラ 10,668	千円 220,096	% 9.0	% -	% -	% 9.0
メキシコ	千メキシコ・ペソ 62,200	千メキシコ・ペソ 60,629	348,014	14.3	-	-	14.3
インド	千インド・ルピー 191,000	千インド・ルピー 190,831	295,788	12.1	-	-	12.1
インドネシア	千インドネシア・ルピア 37,200,000	千インドネシア・ルピア 37,133,020	289,637	11.9	-	-	11.9
ブラジル	千ブラジル・レアル 7,500	千ブラジル・レアル 7,589	221,698	9.1	-	-	9.1
ロシア	千ロシア・ルーブル 214,000	千ロシア・ルーブル 214,941	356,802	14.6	-	-	14.6
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 74,000	千南アフリカ・ランド 73,565	584,108	23.9	-	-	23.9
合 計	-	-	2,316,146	94.9	-	-	94.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

### (2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
トルコ	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券	27.5000	千トルコ・リラ 9,900	千トルコ・リラ 10,668	千円 220,096	2020/09/11
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	1銘柄		9,900	10,668	220,096	
メキシコ	EUROPEAN INVESTMENT BANK EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券	4.0000 7.5000	千メキシコ・ペソ 21,000 41,200	千メキシコ・ペソ 20,033 40,596	114,991 233,023	2020/02/25 2020/06/11
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		62,200	60,629	348,014	
インド	INTL. FIN. CORP. EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券 特 殊 債 券	7.8000 6.6000	千インド・ルピー 108,000 83,000	千インド・ルピー 107,951 82,879	167,324 128,463	2019/06/03 2019/03/04
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		191,000	190,831	295,788	
インドネシア	EUROPEAN INVESTMENT BANK EUROPEAN INVESTMENT BANK INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券	4.9500 7.2000 9.5000	千インドネシア・ルピア 3,500,000 6,700,000 27,000,000	千インドネシア・ルピア 3,480,190 6,671,190 26,981,640	27,145 52,035 210,456	2019/03/01 2019/07/09 2019/04/15
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	3銘柄		37,200,000	37,133,020	289,637	
ブラジル	INTL. FIN. CORP. INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券 特 殊 債 券	12.0000 10.0000	千ブラジル・レアル 3,500 4,000	千ブラジル・レアル 3,521 4,068	102,858 118,840	2019/01/29 2019/06/14
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		7,500	7,589	221,698	
ロシア	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT INTL. FIN. CORP. EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券	10.0000 6.7500 7.2500	千ロシア・ルーブル 66,000 15,000 133,000	千ロシア・ルーブル 66,993 14,950 132,997	111,208 24,817 220,775	2019/09/16 2020/02/03 2020/05/21
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	3銘柄		214,000	214,941	356,802	
南アフリカ	EUROPEAN INVESTMENT BANK EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券 特 殊 債 券	7.5000 6.0000	千南アフリカ・ランド 16,500 57,500	千南アフリカ・ランド 16,498 57,066	131,000 453,107	2019/01/30 2019/10/21
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		74,000	73,565	584,108	
合 計	銘 柄 数 額 金 額	15銘柄				2,316,146	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。



■投資信託財産の構成

2019年1月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,316,146	94.2
コール・ローン等、その他	141,996	5.8
投資信託財産総額	2,458,142	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.67円、1トルコ・リラ=20.63円、1メキシコ・ペソ=5.74円、1インド・ルピー=1.55円、100インドネシア・ルピア=0.78円、1ブラジル・レアル=29.21円、1ロシア・ルーブル=1.66円、1南アフリカ・ランド=7.94円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,449,435千円)の投資信託財産総額(2,458,142千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年1月21日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,471,802,977円</b>
コール・ローン等	26,283,100
公社債(評価額)	2,316,146,350
未収入金	21,670,247
未収利息	77,753,879
前払費用	29,949,401
<b>(B) 負債</b>	<b>29,910,658</b>
未払金	13,660,000
未払解約金	16,250,281
その他未払費用	377
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>2,441,892,319</b>
元本	2,589,517,698
次期繰越損益金	△ 147,625,379
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,589,517,698口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	9,430円

\* 期首における元本額は3,126,480,245円、当作成期間中における追加設定元本額は14,941,653円、同解約元本額は551,904,200円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ短期国際機関債ファンド(年2回決算型) - 成長の絆(年2回) - 17,632,702円、ダイワ短期国際機関債ファンド(毎月分配型) - 成長の絆 - 2,571,884,996円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,430円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は147,625,379円です。

■損益の状況

当期 自2018年7月24日 至2019年1月21日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>110,993,891円</b>
受取利息	110,997,271
支払利息	△ 3,380
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 76,766,369</b>
売買益	53,436,193
売買損	△130,202,562
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 294,655</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>33,932,867</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△225,292,046</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>44,966,725</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 1,232,925</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>△147,625,379</b>
次期繰越損益金(H)	△147,625,379

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。